

(日置郡吹上町入来窪見ノ上)

位置と環境

本遺跡は、農業開発総合センター敷地の北側に位置し、四方に傾斜する丘陵上の台地（標高約70m）に遺跡が広がる。台地の舌状部分に該当し、西に東シナ海、南に大野原台地から加世田平野までを眼下に見下ろし急激に地形が降下していく地点である。

調査の経緯

本遺跡は、土取場及び研究果樹園造成に伴う削平部分について、平成15年度に本調査を実施した。

遺構と遺物

本遺跡からは、縄文時代早期を中心として遺物が出土し、旧石器時代や縄文前期～後期、中世・近世の遺構・遺物が見られる。

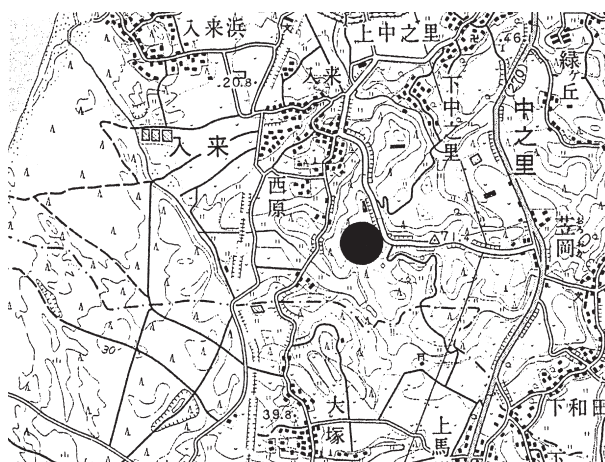
旧石器時代では、トレンチ調査のみであるが、石器の剥片等が出土した。

縄文時代早期では、集石遺構が6基検出された。どの集石遺構にも掘り込みはみられない。礫には赤化が見られ、調理施設としての機能を有していたと考えられる。集石の礫数は多いところで122個あり、規模的には特に大きくはなく、礫層も厚くはない。また、丸味を帯びた礫（磨石）で構成される集積遺構も見られる。

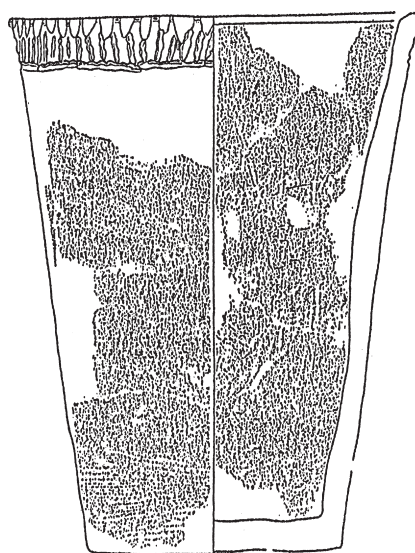
出土した土器は11類に分類され、縄文時代早期相当の土器がほとんどである。質量共に特筆すべきものには、縄文早期の最も古い段階である岩本式土器が多数出土したことである。ほかに早期中葉に位置づけられる石坂式土器や押型文土器が多く出土した。

石器では、磨面や敲打痕を有する磨石・敲石や石斧、剥片などが出土している。特に、石斧整形剥片が多量に出土していることが特筆される。石斧の完形品も数多く見られ、完形品と剥片の石材や石質等が類似していることから、石器製作場であった可能性が高いと考えられる。また、石斧整形剥片の中には、縁辺部に調整痕をもつ資料も見受けられ、スクレイパーとしての用途を有していた可能性を指摘しておきたい。

ほかには磨面のみが認められるものや磨面と敲打



第1図 窪見ノ上遺跡の位置



第2図 岩本式土器の図面

痕が認められるものが多数出土し、安山岩製や砂岩製、一部頁岩製も見られる。集石遺構が検出されることとあわせて、調理場であった可能性が高いものと考えられる。

また、黒曜石や頁岩、チャートなどで製作された石鏃も多数出土している。

縄文時代の前期や中期、後期については、少数ながら土器では曾畑式や春日式土器、指宿式土器、石器では剥片類が出土した。

中世・近世では、硬化面をもつ古道が一条検出された。山の斜面に位置し、山の麓と頂上をつなぐ古道と推定される。

(廣 栄次)

農業開発総合センター建設予定地は、日置郡吹上町和田・中之里・入来と金峰町大野にまたがる対象面積約180haと広範囲に及ぶものである。計画地の大半を占める大野原台地（標高約45mのシラス台地）は東に金峰山を望む広大な台地である。しかしながら所々に谷が入り込み複雑な地勢を呈している。また、大野原台地の北側には谷が入り、谷を隔てて吹上小中原遺跡などが所在する。

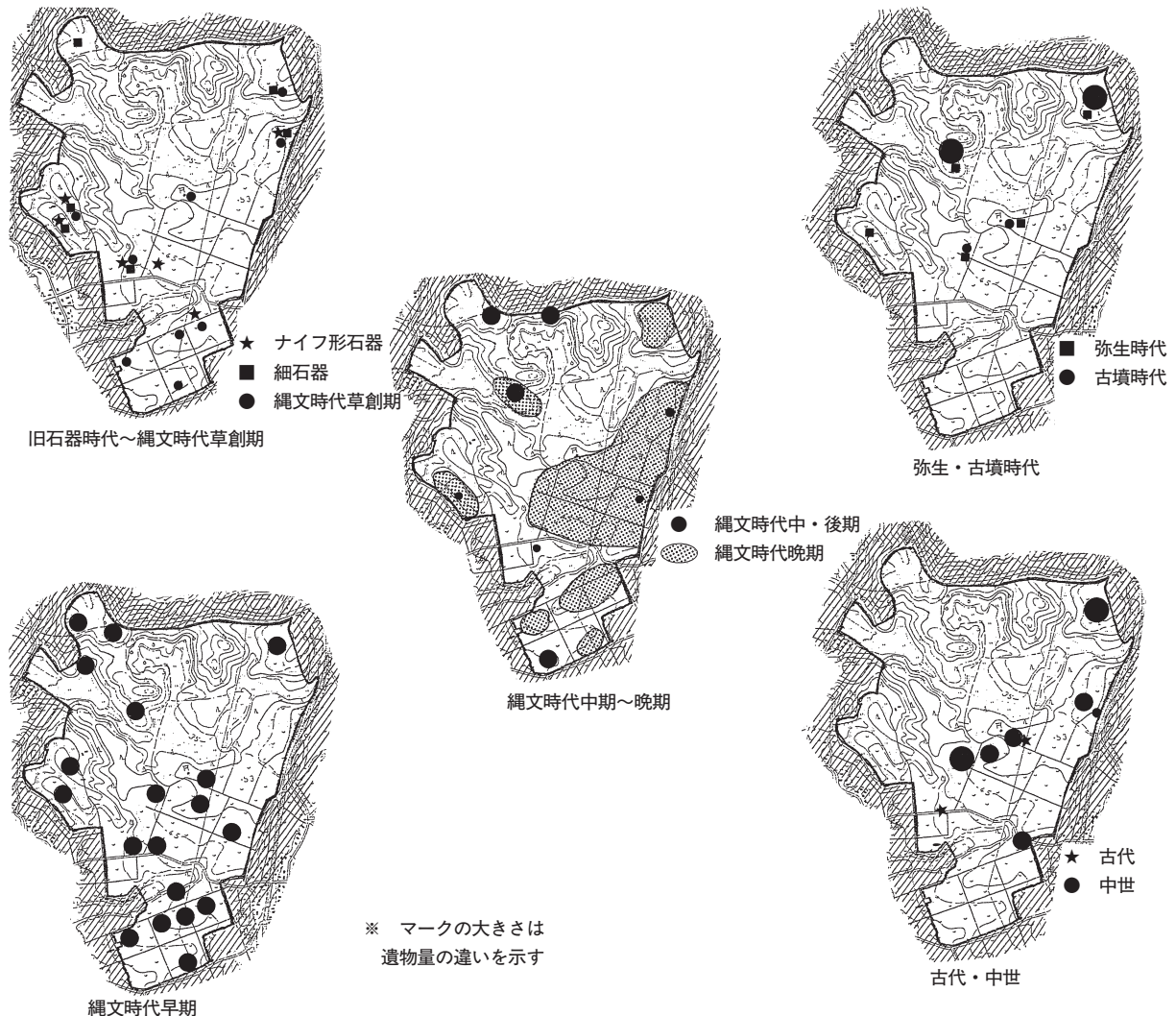
農業開発総合センター遺跡群は、県教育委員会の分布調査により予定地に24遺跡、遺跡面積約135haを確認した。その結果、発掘調査は建物予定地、幹線道路部分及び畑地造成等により削平を受け部分について本調査を実施した。

調査は、平成9年から平成15年までの6年間に亘って実施した。その結果は、以下のとおりである。

農業開発総合センター遺跡群の調査結果では、旧石器時代から中世・近世までの多くの遺構・遺物などが発見された。この地域は、古くから生活に適し



第3図 各遺跡の位置



第4図 農業センター遺跡群の時代別遺跡の推移

ていたことを窺わせるものであった。また、それぞれの時代で貴重な資料が発見された。

旧石器時代は、窪見ノ上遺跡・吹上小中原遺跡・建石ヶ原遺跡・宗円堀遺跡・中尾遺跡・神原遺跡・荒田遺跡・桜谷遺跡等で発見された。

神原遺跡では、礫群を伴う細石刃文化期のブロック5基を検出した。荒田遺跡は、細石刃文化期を中心に多くの遺物が出土し、ブロック2基を発見した。建石ヶ原遺跡・桜谷遺跡では、遺物量は少ないが、ナイフ形石器・剥片尖頭器などが出土した。また、吹上小中原遺跡・中尾遺跡では落とし穴を検出した。

縄文時代草創期は、吹上小中原遺跡・諏訪牟田遺跡・宗円堀遺跡・中尾遺跡等で遺構・遺物が発見された。諏訪牟田遺跡では、集石遺構に伴って隆帯文土器を出土した。中尾遺跡では集石遺構10基、連穴土坑13基などが検出されている。

縄文時代早期は、住居跡など定住施設などの遺構検出が見られなかった。しかし、ほとんどの遺跡で、当時の生活環境に適していた状況を裏付けるような調査結果であった。特に、早期中葉の石坂式土器は各遺跡から出土し量も多く注目された。窪見ノ上遺跡では早期前葉の岩本式土器がまとまって出土した。諏訪牟田遺跡では前平式土器が多く出土し、その中に断面がレモン形をした土器を発見した。馬廻遺跡は、狭小な遺跡であつたが、石坂式土器・桑ノ丸式土器などの完形土器が出土した。吹上小中原遺跡では、前平式土器の完形土器と、その近くに石槍3本が重なり合って検出された集積遺構を発見した。そのほか、集石遺構7基を検出した尾ヶ原遺跡、押型文土器が多く出土した桜谷遺跡・荒田遺跡等がある。

縄文時代前期・中期・後期は、遺跡の数も少なく、遺物の出土量も少なかった。窪見ノ上遺跡では、前期の曾畑式土器、中期の春日式土器が出土し、尾ヶ原遺跡では、前期の曾畑式土器・深浦式土器、中期の春日式土器などが出土した。縄文後期は、吹上小中原遺跡・建石ヶ原遺跡・南原内堀遺跡等で数点の遺物が出土している。

縄文時代晩期は、早期と同様に、ほとんどの遺跡で出土し、遺物の量も膨大である。特筆されるものがいくらかある。

建石ヶ原遺跡では、道跡の発見があり、幅2mの浅い窪みで硬化面が確認された。硬化面の上部には開聞岳起源の灰コラ（縄文時代晩期相当の時期）が

堆積していた。ほかに、諏訪前遺跡・諏訪牟田遺跡・諏訪脇遺跡・尾ヶ原遺跡・南原内堀遺跡などで、埋設土器の検出があった。また、諏訪前遺跡・諏訪牟田遺跡・吹上小中原遺跡では、晩期の遺跡でよく見られる緑色の石で作られた玉類などが出土し、諏訪前遺跡では攻玉砥石も出土した。遺跡群での遺構検出例は少なく、諏訪牟田遺跡では、径3mの竪穴住居跡が検出されたのみであった。ただし、柱穴4～6個が一行に並んだ柱穴列と称している遺構を数多く検出したが、用途については、今後の課題である。

弥生時代は、前期・中期・終末の遺跡が確認された。前期は、馬塚松遺跡で高橋式土器が出土し、2間×2間の高床倉庫と考えられる総柱建物跡を検出した。桜谷遺跡では、中期前半の入来式土器を伴う竪穴住居跡が単軒で検出された。諏訪前遺跡・諏訪牟田遺跡では、計3軒の竪穴住居跡が検出され、壺形土器に「龍」を描いた線刻土器が出土した。

古墳時代は、吹上小中原遺跡・尾ヶ原遺跡で注目される集落跡が検出された。特に、須恵器と成川式土器が共伴して出土し、南九州の古墳時代土器の編年に寄与するものと考えられる。

古代の遺跡は、諏訪牟田遺跡から掘立柱建物跡群を検出した。神原遺跡・頭無遺跡では、V字状の大溝が検出された。溝からは9～10世紀頃の須恵器の甕や壺、土師器の坏等が出土した。

中世は、馬塚松遺跡をはじめ諏訪牟田遺跡・諏訪脇遺跡・宗円堀遺跡・市堀遺跡・古里遺跡・吹上小中原遺跡等で、掘立柱建物跡群を検出し、広い範囲に集落が形成されていたことが判明した。さらに、馬塚松遺跡・諏訪牟田遺跡は青磁・白磁等の磁器などが多く出土し、中心的な集落であったものと考えられる。また、建石ヶ原遺跡では方形周溝墓を検出した。

資料の所在

出土遺物は、鹿児島県立埋蔵文化財センターに保管されている。

参考文献

鹿児島県立埋蔵文化財センター2004「農業開発総合センター遺跡群Ⅰ」『鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書』83

(中村耕治)

第1表 農業開発総合センター遺跡群各遺跡概要一覧表

番号	遺 跡 名	時 代	遺 構	主 な 遺 物
1	窪見ノ上	縄文早期	集石遺構	岩本式土器・石斧
2	馬 廻	縄文早期		前平式・石坂式土器
3	三反牟田	縄文後期		石鏃
4	吹上小中原	旧石器 縄文早期 古墳 中世	落とし穴 石槍集積遺構 竪穴住居跡群 掘立柱建物跡群	細石器 前平式土器 須恵器Ⅰ式
5	建石ヶ原	旧石器 縄文晩期 中世	道跡 方形土墳墓・溝	三稜尖頭器・細石器 入佐式土器 青磁
6	古 里	中 世	掘立柱建物跡群・溝	青磁・白磁
7	西 原	縄文早期		
8	諏訪牟田	縄文草創期 縄文早期 縄文晩期 弥生終末 古代 中世	集石遺構 竪穴住居跡・埋設土器 竪穴住居跡 掘立柱建物跡・溝 掘立柱建物跡	隆帯文土器 前平式・石坂式土器 入佐式土器 土師器 青磁
9	諏 訪 前	縄文晩期 弥生終末	埋設土器・土坑 竪穴住居跡	入佐式土器・玉類 ドラゴンの絵画土器
10	馬 塚 松	縄文早期 弥生前期 中世	高床倉庫 掘立柱建物跡	石坂式土器 石包丁 青磁・白磁
11	尾 ヶ 原	縄文早・前期 中 晩 期 弥生中期 古 墳	集石遺構 埋設土器 小児用合口壺棺 竪穴住居跡	前平式・石坂式土器 曾畑式・深浦式・春日式土器 打製石斧・石錘 須玖式・黒髪式土器 成川式土器・須恵器Ⅱ式
12	諏 訪 脇	縄文晩期 中 世	埋設土器 掘立柱建物跡	玦状耳飾り
13	宗 円 堀	旧石器 縄文晩期		ナイフ形石器・細石器 管玉
14	大 門 口	縄文晩期	柱穴列	玦状耳飾り
15	市 堀	中 世	掘立柱建物跡	
16	頭無迫田	縄文早期	集石遺構	石坂式土器
17	頭 無	縄文早期		平斧式土器
18	神 原	旧石器 古代	礫群 溝	細石器 須恵器
19	桜 谷	旧石器 縄文早期 弥生中期	石鏃製作跡 竪穴住居跡	ナイフ形石器 石坂式・押型文土器 入来式土器
20	荒 田	旧石器		ナイフ形石器・細石器
21	秋 葉	縄文早期		押型文土器
22	中 尾	縄文草創期 縄文早期	連穴土坑・集石遺構 集石遺構	隆帯文土器
23	南原内堀	縄文中期 縄文晩期	埋設土器	阿高式・西平式・指宿式土器 管玉
24	加治屋堀	縄文晩期		